

# 通常の学級における特別の支援を必要とする児童生徒に関わる教員の指導力向上を目指した支援体制の整備

## 研究の目標

通常の学級における特別の支援を必要とする児童生徒に対して、全ての教員が適切な指導や必要な支援を行うための、指定地域における自治体全体の人材育成システムや主体的・自立的な校内体制構築の在り方を明らかにする。

## 研究の成果

### 宗像市の成果

◎ 特別支援教育に関する教員の**指導力**が向上しました。

- 視点1**
  - 人材育成のための研修システム
  - 特別支援教育指導員の配置
- 視点2**
  - 特別支援教育セルフチェックリストを活用した自己リフレクション
  - 対話リフレクションを取り入れた校内支援体制づくり

特別支援教育成果評価縮尺度（SNEAT）

【4月】			【7月】		
領域	質問項目	選択	領域	質問項目	選択
心の健康	6 児童生徒は集中して学習活動に取り組みましたか。	2	心の健康	6 児童生徒は集中して学習活動に取り組みましたか。	4
	7 児童生徒の学習上の意欲は高まりましたか。 ※「学習上の意欲」とは新しいことを知る楽しさ、課題に対する達成感、「またやりたい」という期待感等の表出から読み取れるやる気のこと。	3		7 児童生徒の学習上の意欲は高まりましたか。 ※「学習上の意欲」とは新しいことを知る楽しさ、課題に対する達成感、「またやりたい」という期待感等の表出から読み取れるやる気のこと。	4

※SNEAT:障がい児の教育成果をより客観的に評価するためQOLの概念を取り入れた特別支援教育成果評価尺度

## 研究指定・委嘱地域（校）

宗像市教育委員会（城山学園：赤間小学校、吉武小学校、赤間西小学校、城山中学校）

## 研究の内容

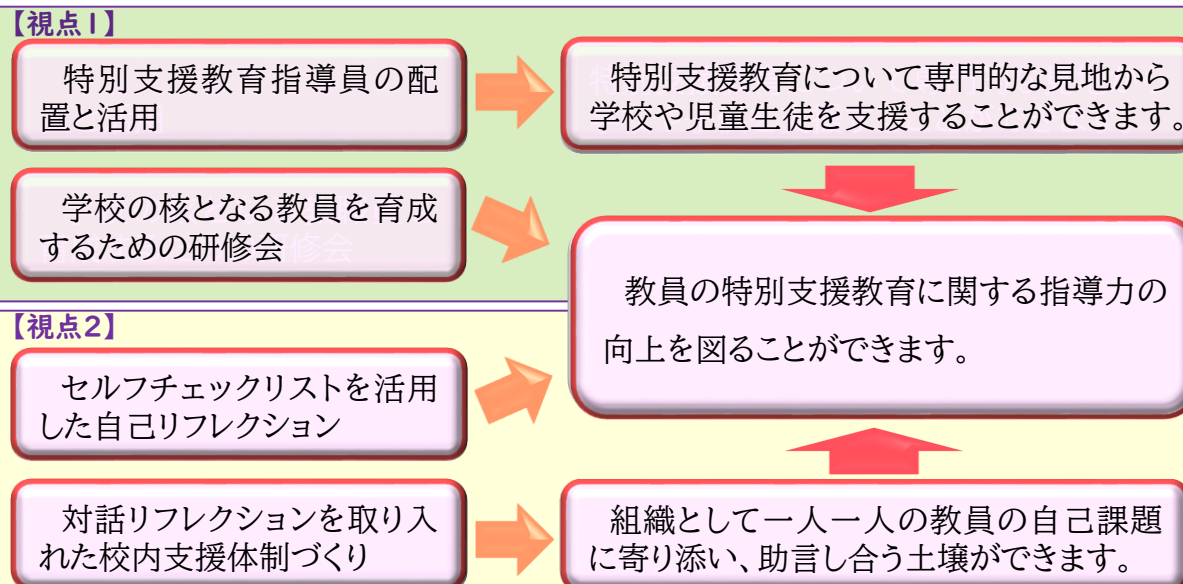
- 視点1: 指定地域における戦略的な人材育成・活用システムの構築
- 視点2: 通常の学級における特別支援教育の達成モデルを活用した実践的指導力の育成

## おすすめポイント

こんな教育委員会、学校におすすめ

### 宗像市の研究ポイント

これから特別支援教育に関わる人材育成に取り組もうと思っている教育委員会、学校



## 研究の実際 ■ 視点1: 指定地域における戦略的な人材育成・活用システムの構築

校内における核となる人材育成のために、理論から対話リフレクションの運用など実践へとつながる研修会を実施しました。

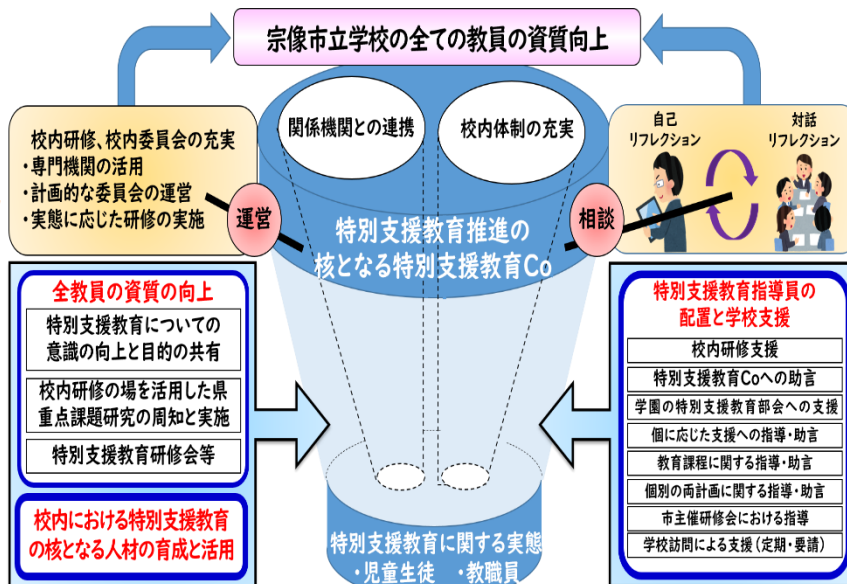


特別支援教育コーディネーター研修会

インクルーシブ教育の推進に向け、通常の学級担任・特別支援学級担任、養護教諭など様々な立場の教員を対象としました。



支援の在り方についての研修会



児童生徒の実態に応じた手立てを再検討したり、増やしたりするために、専門的な見地から、特別支援教育指導員が対話リフレクションに参加し、助言しました。



対話リフレクションにおける特別支援教育指導員の助言

### 研究の実際 ■ 視点2:通常の学級における特別支援教育の達成モデルを活用した実践的指導力の育成

「特別支援教育セルフチェックリスト」を活用した「自己リフレクション」を基に、自分の課題を設定したのち、その課題を解決するための授業実践の前後に、学校規模や学校種に応じた「対話リフレクション」を実施しました。

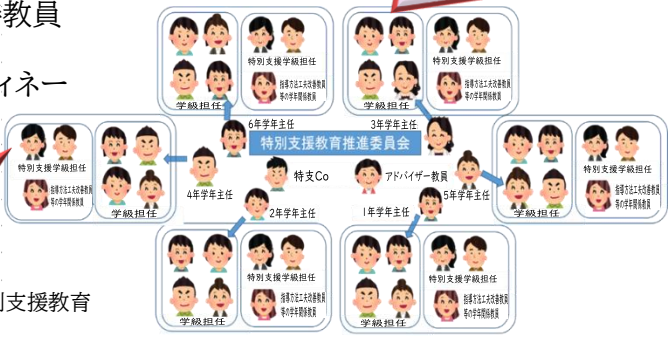


#### 大規模校の 赤間小の実践

対話リフレクションを取り入れた校内支援体制づくりのポイント  
★ 学年チームの団結力を生かす  
★ 研究推進部を中核に据えた組織体制

- ① 開催時期の工夫  
毎週木曜日に対話リフレクションを日常的に設定し、1ヶ月サイクルで自分の課題に対する取組について計画・評価を繰り返しました。
- ② グループ設定の工夫
  - 学年ごとに6つのグループを編成
  - 特別支援学級担任や指導方法工夫改善教員も各学年のグループに参加
  - アドバイザー教員・特別支援教育コーディネーターは、各学年のグループに輪番で参加

特別支援教育推進委員会に学年主任が所属し、各個人の課題等に対する組織的な対応を検討しました。



グループ内をさらに2グループに分け、互いに対話リフレクションを見学できるようにしました。

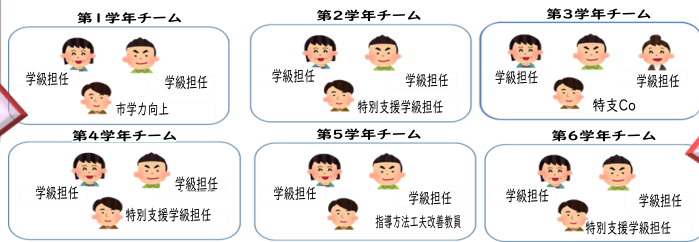
※ アドバイザー教員:校内や学園(中学校ブロック)内で特別支援教育に関する専門的知識を有する教員

#### 中規模校の 赤間西小の実践

対話リフレクションを取り入れた校内支援体制づくりのポイント  
★ 少人数による学年チームでの解決力  
★ 交換授業による児童の実態把握

- ① 開催時期の工夫  
月1回、対話リフレクションの時間を職員研修で実施し、共有しました。
- ② グループ設定の工夫
  - 学年ごとに6つのグループを編成
  - 特別支援教育コーディネーターは必要に応じて、どの学年にも参加
  - 特別支援学級担任や指導方法工夫改善教員などは、関わりの多いグループに参加

各学年2・3学級のため、少人数でグループの編成ができました。



交換授業を行うことで、グループ内の教員が抽出児の課題を把握でき、話し合いの内容が充実しました。

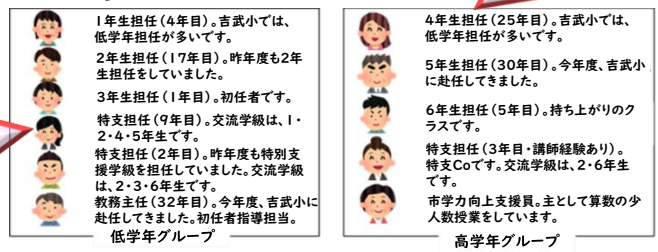
#### 小規模校の 吉武小の実践

対話リフレクションを取り入れた校内支援体制づくりのポイント  
★ 全教員が全校児童を育てる意識  
★ 既存の時間の有効活用

- ① 開催時期の工夫  
毎週木曜日の放課後に全学級の様子や児童の実態(特性や課題)の共有を目的に実施している「児童交流会」の時間を活用し、学期に2回、対話リフレクションの時間に変更して、実践的指導力の向上の場となるようにしました。
- ② グループ設定の工夫
  - 低学年と高学年の2つのグループを編成
  - 特別支援学級担任は、関わりのあるグループに参加
  - 教務及び学力向上支援教員は、指導を数多く行っているグループに参加

既存の会議を利用し、リフレクションの時間を生み出しました。

抽出児への日ごとの取組について対話することで、抽出児を多面的に捉え、対応策を考えることができました。



#### 中学校の 城山中の実践

対話リフレクションを取り入れた校内支援体制づくりのポイント  
★ 教科担任や部活動顧問などの多様な実態把握  
★ 15分~20分でのリフレクション

- ① 開催時期の工夫  
月1回の学年会議をベースにして対話リフレクションを実施しました。
- ② グループ設定の工夫
  - 学年ごとに大きくグループを分け、担任や元担任、教科担当、部活動で関わっている教員で小グループを編成
  - 特別支援学級担任は、各グループに参加
  - 1クール毎にグループを変え、1クール15~20分でリフレクションを実施

担任や教科等の偏りがでないように編成しました。

1クールを15分~20分としたことで、限られた時間の中で、多くの教員の指導内容や方法についてリフレクションができました。

60分間	1クール 20分	Aグループ 担任:教科・数学 副担任:教科・国語 担任:教科・理科 担任:部活動顧問 担任:教科・社会 担任:教科・社会	Bグループ 担任(学年主任):教科・英語 担任:教科・体育 担任:教科・美術 担任:教科・社会	Cグループ 担任:教科・理科 担任:教科・国語 担任:教科・体育 担任:教科・英語	Dグループ 担任:教科・国語 担任:教科・社会 担任:教科・数学 担任:教科・英語
	2クール 20分	Aグループ 担任:教科・英語 担任:教科・社会 担任:相談室 担任:教科・体育	Bグループ 担任:教科・体育 担任:教科・国語 担任:教科・美術 担任:教科・社会	Cグループ 担任:教科・理科 担任:教科・国語 担任:教科・体育 担任:教科・英語	Dグループ 担任:教科・英語 担任:教科・社会 担任:教科・理科 担任:教科・数学
	3クール 20分	Aグループ 担任(学年主任):教科・英語 担任:教科・国語 担任:教科・体育 担任:教科・国語	Bグループ 担任:教科・数学 担任:教科・社会 担任:相談室 担任:教科・体育	Cグループ 担任:教科・理科 担任:教科・国語 担任:教科・体育 担任:教科・英語	Dグループ 担任:教科・美術 担任:教科・社会 担任:教科・理科 担任:教科・数学

実践後、「特別支援教育セルフチェックリスト」を活用した「自己リフレクション」を実施することで、実践的指導力の向上を実感し、次の課題を設定することができました。



UDと支持的風土づくりは意識できていたから、今度は個別の支援だ。目標も立てたし、がんばるぞ!